

平成29年度 日本大学危機管理学部個人研究費 研究実績報告書

所属： 危機管理学部 危機管理学科

資格： 教授

氏名： 木原 淳

研究課題		防衛法制と安全保障・防衛行政
報告の概要	研究目的及び研究概要	平成29年度個人研究費は、以下に述べるような研究計画を実行するために使用された。本年度の研究計画の目的と概要は、研究の成果を主に講義や演習に反映させて学生に還元することを目的として、概説書の執筆を視野に入れた防衛法制の概説的整理の充実、武力行使に至らない侵害の排除に関する論点の整理等と最近の国際情勢を踏まえた安全保障・防衛に関する事象や議論のフォローを進めることである。
	研究成果	平成29年度個人研究費を用いた今年度の研究成果と次年度に対する教訓反省をとりまとめれば以下の通り。まず、研究成果としては、論文「防衛施設である飛行場に係る騒音訴訟における騒音対策区域の取扱い」、『危機管理学研究』、査読あり、第2号がある。本論文では、米軍や自衛隊の航空機の機種や配置が大きく変更されつつあることを背景に、指定からかなりの年月が経過する事例が多い飛行場周辺の騒音対策区域が一連の航空機騒音訴訟判決の被害認定でどのように取り扱われてきたのかを整理し、区域指定に関する含意の抽出を試みたものである。また、防衛法制の概説的整理や安全保障・防衛の最新動向のフォローの成果は後期の講義や演習での配布資料や討議用題材に反映させた。 反省事項としては、新たに従事することとなった校務や今年度から開始された講義・演習の形成的評価に向けたエフォートが思いのほか大きく、武力行使に至らない侵害の排除の研究が資料の検索と収集に終わったことである。次年度はアウトプットに向けての研究の進展を図りたい。
研究業績	・論文および著書 著者名・論文標題・雑誌名・査読の有無・巻・発行年・ページ数	論文：木原 淳「防衛施設である飛行場に係る騒音訴訟における騒音対策区域の取扱い」、『危機管理学研究』、査読あり、第2号
	・学会発表等 発表者名・発表標題・学会名・発表年月日・発表場所	なし
	・その他 *書評、雑誌投稿など 著書名・標題・掲載誌名・発表年月・発行所 *講演会、研究会等での講演・発表 発表者・発表年月・題目名・講演会等名 *社会貢献活動等	なし